

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2022年 2月 18日

<p>テーマ名</p>	<p>デザイン思考等の考察</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC大阪城</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>https://www.itc-osakaio.jp/?page_id=18</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)新保 康夫 電話番号:050(7103)1507 e-mail: info@shimchan.com</p>	<p>(担当者氏名)新保 康夫 電話番号:050(7103)1507 e-mail: info@shimchan.com</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>新型コロナウイルスにより、ビジネス環境は大きく変化しています。AI、IoTやRPA等の言葉に引きずられるのではなく、原点に立ち戻り、IT経営を見つめ直す事が大切と考え、このための一つのアプローチとして、ITコーディネータとしてデザイン思考を考察した。これはIT経営推進に有効な手法であると考え。また、プレゼンテーションやワークショップについても新たな知見をもつことが必要と考えた。 今回は、ナレッジ、ハウツウ、メソッドとしてアプローチしている。</p> <p>(1)ナレッジとして デザイナーやクリエイターが業務で使う思考プロセスを活用し、前例のない課題や未知の問題に対して最適な解決を図る思考法であるデザイン思考をナレッジベースとして知見を得ている。</p> <p>(2)ハウツウとして プレゼンテーションが正しく伝わるか、誤った理解をされないかを逆説的にだますプレゼンテーションの方法を知見した。</p> <p>(3)メソッドとして システム開発のアジャイル開発においてモブプログラミングがあります。これを自らのワークショップに適用するために、モブプログラミングについて知見した。</p> <p>※今回はコロナ禍のため、Web会議とメールによる会合およびコミュニケーションとなった。(Web会議サービスはV-cubeを利用、ITCとしてZoom以外のサービスを活用できることが大切と考える。) ※Web会議では、ミニセミナーとして各自持ち回りで自身の研究調査のテーマをプレゼンする方法を取り入れ、Web会議でのセミナースキルの向上にもトライしている。</p>	
<p>成果物</p>	<p>以下が、成果物となります。 「デザイン思考等の考察」報告書</p> <p>なお、本報告書については、後日、次の日時に報告会を開催し、ITコーディネータに報告いたします。 日時: 令和4年2月28日(月) 13時30分～17時30分 場所: コロナ禍のため、Zoom Meetingで実施 報告会用テキストについては、期間限定で報告会案内サイトにアップする予定</p> <p>WGメンバ限定 商工会議所向け案内チラシ</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2022/1/19</p>
<p>案件番号</p>	<p>S210003</p>